

令和4年第4回西之表市議会定例会

所信表明並びに提案理由説明



皆さん、おはようございます。

本日、令和4年第4回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの流行は、11月に入り、国内感染者が、北海道や首都圏などを中心に、増加傾向にあります。西之表保健所管内（熊毛地区）では、県内のほかの医療圏域に比べ、新規感染者数は、現在のところ低いレベルで推移しているところです。市民の皆様の日頃からの感染症拡大防止に対する取組みのおかげであると深く感謝申し上げます。

オミクロン株対応ワクチンの接種については、18歳以上の方を対象に、本日11月29日から市民体育館において集団接種を行っております。

年末年始に向け、帰省や旅行など、人の動きが活発化する時期でもありますので、ワクチン接種の条件をご確認の上、早めの接種をご検討いただきたいと思います。

今後も第8波にそなえて気を緩めることなく、基本的な感染防止対策を行いながら、社会経済活動との両立に向けて市政を進めてまいります。

それでは、コロナの影響で、これまでに多くのイベントが中止となるなか、第3回定例会以降に開催された市の行事や取組みについてふれたいと思います。

市商工フェスタが、11月6日に日泊みなと公園で開催されました。屋台やキッチンカーが立ち並び、多くの人々が笑顔で舞台や食事を楽しむ姿が見られました。夜には延期となっていた鉄砲まつりの花火大会もあり、秋の夜空を豪華に彩りました。

文化事業では、11月3日文化の日に、市民会館ホールにおいて、シング・ネクストステージの映画上映を行いました。3回上映し、子どもから大人まで791名の皆様にお楽しみいただきました。

11月5日には、同館ホールにて、鹿児島市出身で、数多くのテレビドラマやアニメ作品の作曲を手掛けている吉俣良（よしまた りょう）コンサートを開催しました。407名の皆様にご来場いただき、総勢25名の演奏家とともにお届けする珠玉のサウンドトラックと鹿児島弁の楽しいトークに会場は盛り上がりを見せました。

また、11月12日にも、同館ホールにおいて、みやま・さてらいとコンサートを開催しました。みやまコンセール協力演奏家4名による、クラシックの名曲から親しみのあるアニメの曲などを家族で楽

しんでいただき、194名の皆様にご来場いただきました。

スポーツ事業では、11月20日、3年ぶりに第51回西之表市駅伝競走大会が開催されました。伊関小学校をスタートし、田之脇公民館前ゴールの10区間14.4kmに14チームがエントリーし、健脚を競いました。榕城上方が優勝、2位下西A、3位榕城下方、住吉が躍進賞という結果になりました。

次に地域振興についてであります、去る11月3日に、安城・立山・古田校区が取り組むキッチンカー「もよーて」の出発セレモニーが立山小学校にて行われました。

この取り組みは、昨年実施された地域ワークショップにおいて、各校区共通する課題の同時解決を図るため企画されたものです。

今後は、地元の食材を活用し、高齢者等への食の提供を基本とした、地域主体の見守りを進め、住み続けたい地域づくりを目指していくこととしています。

また、国上校区におきましても、水産加工品の商品化を目指し、年末実施される「年の瀬市」で販売を予定しています。

各校区が自らのアイデアで地域課題を解決していくことに対し、市としても最大限の支援を実施していくとともに、協働した取り組

みへと繋がるよう努力をしております。

次に、農林水産・畜産業の状況についてであります。

本市の基幹作物であるさつまいもにおいては、サツマイモ基腐病が一昨年度から拡大し、安納いもを中心に重大な被害をもたらしておりますが、今年度につきましては、気温や降水量等の気象要因のほか、排水対策など各農家の対策実践の効果により、前年度に比べ発生が少なくなっております。これまで、国・県・関係機関が一体となって、生産者への支援策を行っていますが、引き続き次期作に向けた対策に取り組んでまいります。

なお、澱粉原料用さつまいもにつきましては、10月末現在で見込平均反収が54俵（昨年実績比+1.8%）、安納いも等の青果用さつまいもについては、見込平均反収1,200キログラム（昨年実績比+80.9%）となっています。

10月24日には、安納いもブランド推進本部主催の「種子島安納いも等品評会」が中種子町で開催され、株部門において、特選種子島安納いも生産部会の川畑次博さんが、金賞を受賞されました。「種子島安納いも」が農林水産省の地理的表示（GI）保護制度に今年3月に登録されて以降、初めての品評会となりましたが、地元生産者の

入賞を機にさらなるブランド力の向上に繋げてほしいと思います。

一方、サトウキビにつきましては、春先の平均気温が高く春植、株出の初期育成は順調でしたが、9月18日から19日にかけて台風14号が接近し、葉先裂傷・倒伏等の被害がありました。その後回復しつつあるところであり、見込平均反収6,435キログラム（昨年実績比 -5.1%）となっています。

なお、製糖工場の原料受入を12月6日から開始し、年末年始休暇や増産推進日等を挟んで、来春の4月13日に受入終了予定となるようです。

高齢化による担い手不足という課題もありますが、さつまいもからの転作や夏植え・秋植えの積極的な推進により、増反が進んできており、受託組織のさらなる強化を図るなど、将来を見据えた取組みを進めたいと考えています。

畜産につきましては、飼料代等の高騰等から市場価格も依然として厳しい状況にあり、直近の11月の種子島家畜市場における本市産子牛平均価格は、53万4千375円で前回10月のセリと比較すると、2千135円の減となりました。

10月6日から10日にかけて霧島市において、第12回全国和牛能

力共進会が開催され、初日の開会式に参加しました。北は北海道から南は沖縄県まで全国の41道府県から438頭の出品があり、過去最大規模の実施となりました。結果は、鹿児島県が全9部門のうち6部門で優等賞1席を獲得するなど、名実ともに和牛日本一の称号を手に入れることができました。これを追い風に、子牛の価格回復など畜産振興に繋がるよう期待したいと思っております。

有害鳥獣のシカ対策については、捕獲と防護の両面からの対策を進めており、捕獲頭数については10月末現在で1,376頭となっております。

林業につきましては、市有林における間伐を実施しており、本年度は、およそ5.9haの施業となっております。

水産業の状況ですが、一昨年度から記録的な不漁が続いていたキビナゴ刺し網漁については、本年度少しずつ水揚げされるようになっていきます。

11月1日からは、冬の訪れを告げるアサヒガニ漁が解禁され、鮮やかな朱色のカニが水揚げされています。漁業においても高齢化が進み、全体として水揚げが減少傾向にあります。

次に商工業についてであります。

10月21日から23日にかけて、島外に住む方たちを対象に地元事業者との雇用の充足を図るためのマッチングツアーを開催しました。

実際に事業所を訪問し、関係者から話を聞いたり生活に必要な情報や観光地を把握したりするために島内を巡り、島での就業や生活を想像していただくための活動をしていただきました。

失業者やコロナ禍での就業対策としては、在宅ワークスキルアップセミナーを10月15日から6回コースで開催し、20名の方が参加しております。10月22日からは、歳末に向けた地域経済活性化のためのプレミアム付き商品券の販売も、商工会が事業主体となり11月24日には好評のうちに完売となりました。

最後に馬毛島問題についてです。

去る10月11日、11月21日と22日の3日間、防衛省の協力を得て馬毛島における文化財調査を実施しております。石器や骨片等の発見が見られたことから文化財保護法等に則り適切に対応してまいります。

11月19日及び20日には、馬毛島問題に関する住民説明会を開催しました。市民の最大の心配事である騒音問題や、期待の声が大き

い再編交付金を中心に説明をさせていただいたところです。今後も馬毛島をめぐる問題について、理解を深めていただく機会を設けてまいりたいと思います。

11月22日には、第10回となります本市と防衛省との協議の場を開催しました。防衛省から環境影響評価準備書に対する知事意見の意見への対応の概要について説明を受けました。知事意見に対して真摯に対応しているものと受け止めたいところです。騒音問題については、非日常への不安を訴える高齢者等も見られます。不安の払しょくに向け、引き続き取り組んでまいります。

11月25日には、県知事と住民説明会や協議の場などの本市状況等を報告の上、意見交換を行ないました。今後、ますます県との連携は重要であると認識しており、引き続きの連携をお願いしてきたいところです。

私自身の政治姿勢につきましても触れさせていただきます。私は、公約を常に意識して現実の動きに対応してきています。本問題は、客観的に判断できる材料の輪郭が不鮮明な中で議論されてきました。私は、市長就任以来、市民の安心安全を第一に、そして市民の不安の払しょくを図るため、防衛省とやりとりを重ね、防衛省の計画や

考えの形を明らかにするよう努めながらここに至っています。そして、更に、市民の安心安全の担保や不安の払しょくのため努力を続けていきます。ご承知の通り、防衛省は新たに補正予算を組むなど、基地整備に向けた準備を進めています。民意がわかれる中、一方の考えのみを主張して、あるいは一方の考えをないがしろにすることは、市長の立場としてはできません。住民に不利益とならぬよう、市民の安心安全と市の発展に責任を有する市長の立場として対応すべき場面もあることをぜひ、ご理解いただきたいと思います。現実の動きがあらわれる都度、最善の選択を行い、この問題に対応してきています。今、最も優先すべき私の使命は、市民の安心安全の確保と不安解消に全力を尽くすこと、かつまた、期待の声にこたえる最大限の努力を注ぐこととでございます。みなさまのご理解とご協力をお願いします。

それでは、本定例会に提出いたしました議案について御説明をいたします。提案いたしました議案は、条例制定議案4件、条例の一部改正議案1件、指定管理者の指定についての議案2件、一般会計補正予算など予算関係議案4件の合計11件であります。

主な議案について御説明をいたします。

議案第 55 号は、公職選挙法施行令の改正に準じて西之表市議会議員及び西之表市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正するもの、議案第 56 号は、個人情報保護に関する法律が改正され、改正後の法律が直接地方公共団体に適用されることに伴い、必要な事項を定めるための条例を制定するもの、議案第 57 号は、地方自治法第 241 条第 1 項の規定に基づく基金を適正に管理・運用することにより、再編交付金の円滑な推進を図るため条例を制定するもの、議案第 58 号は、旧榕城分団跡地を中心市街地及び地域経済活性化のための交流拠点施設として活用していくため、条例を制定するもの、議案第 59 号は、西之表市牧場を廃止し、その跡地の一部を西之表市公共採草地として活用するため条例を制定するものです。

議案第 60 号、61 号は公の施設の指定管理者の指定についてです。議案第 62 号は、令和 4 年度西之表市一般会計補正予算（第 7 号）についてであります。

歳入歳出予算の総額に 9 億 4, 386 万円を追加し、予算総額を 127 億 8, 858 万円とするものです。

本予算の主なものについてご説明いたします。

歳入では、国庫支出金において、令和4年10月21日付けで交付額決定された再編交付金や、接種対象が拡大（生後6か月～4歳まで）したオミクロン株対応ワクチンの接種に伴う、新型コロナウイルスワクチン接種対策費などを主に、8億2,140万円、県支出金では、国の2次補正に伴う特定有人国境離島地域社会維持推進交付金などを主に3,095万3千円、追加しております。

歳出では、議案提案しております西之表市再編交付金事業基金に再編交付金を積み立てる経費などを主に総務費を7億8,228万5千円、新型コロナウイルスワクチン接種経費などを主に民生費を4,637万4千円、国の2次補正に伴い、雇用機会拡充事業を実施した事業者で物価高騰等の影響等により、売上高・営業利益等が減少している方に対し、事業資金の一部を補助する特定経営基盤維持事業などを主に商工費を2,618万9千円、追加しております。

議案第63号から第65号は、それぞれの特別会計に必要な補正を行おうとするものであります。

なお、人事院勧告関係等で後日、議案の追加を予定しております。

議員各位の御審議のほどよろしく申し上げます。

以上で提案理由の説明といたします。

大相撲九州場所では、本市出身の島津海が、3勝7敗からの5連勝で見事勝ち越しました。市民の皆さんとともに喜びたいと思います。

ありがとうございました。

令和4年11月29日

西之表市長 八板 俊輔